

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 22 年度第 1 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 22 年 7 月 26 日 (金) 午後 6 時 07 分から午後 8 時 10 分まで		
開催場所	小金井市役所 本庁舎 3 階 第 1 会議室		
出席者	委員	<出席者；15 名> 庄司会長・植村副会長・加藤委員・竹内委員・波多野委員・ 佐藤委員・山田委員・多田委員・澤島委員・伊藤委員・鈴木委員・勝又 委員・簀口委員・原委員・松村委員 <欠席者；0 名>	
	事務局	深沢環境部長・三上ごみ処理施設担当部長・柿崎ごみ対策課長・ 藤本ごみ処理施設担当課長補佐・鈴木ごみ対策課長補佐・ 井上・中福・府川・石阪	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	2
会議次第	1 開会 2 委嘱状の伝達 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 正副会長の互選 6 議題 (1) 平成 21 年度の可燃ごみ処理状況について (2) ごみ・資源物の処理量及び平成 21 年度廃棄物会計について (3) 新ごみ処理施設建設事業の進捗状況について 7 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

<p>提出資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 2 小金井市のごみの概要について 3 小金井市ごみ分別の手引き 4 ごみリサイクルカレンダー 5 市報 こがねい ごみ減量・リサイクル特集号 (7月15日号) 6 平成21年度 可燃ごみ処理の支援状況について 7 平成22年度 可燃ごみ処理の支援状況について 8 平成22年度一般廃棄物処理計画 9 小金井市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 10 平成20年度清掃事業の概要 11 市報 平成22年4月15日号(抜粋) 12 市報 平成22年7月1日号(抜粋)
<p>その他</p>	<p>次回開催予定 平成22年10月19日(火) 中間処理場 研修室1</p>

鈴木 課長補佐	<p>(小金井市廃棄物減量等推進審議会の位置づけ、小金井市廃棄物の処理、促進に関する条例及び再利用の促進に関する条例・規則の説明)</p> <p>廃棄物減量等推進審議会会長が選出されるまでの間、ごみ対策課長補佐、鈴木が司会を行う。</p> <p>なお、この会議は公開し、会議録を作成するので了承いただきたい。</p> <p>本日の議事に入る前に、市長より委嘱状の伝達を行う。</p>
市長	(委嘱状伝達)
鈴木 課長補佐	つづいて、小金井市長より一言あいさつを申し上げる。
市長	<p>第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいま、皆様には委嘱状を快くお受けいただきましたことに感謝申し上げ、小金井市の廃棄物行政に対する一定の考え方をお示ししたいと考えております。</p> <p>色々な諮問等もさせていただきますが、是非ご理解いただきご協力願いたい。</p> <p>申し上げるまでもなく、小金井市の燃やすごみは、平成19年3月に二枚橋焼却場が停止して以来、近隣市、または、一部事務組合に焼却処理をお願いしております。</p> <p>今年度も、八王子市、昭島市、日野市、多摩川衛生組合の4施設で処理をお願いしているが、現在、多摩川衛生組合の汚水処理室でアクシデントが発生し、全炉が停止しており、本日稲城市長から、8月からの再稼動の見込と伺っております。</p> <p>この間、約1か月半の停止期間となるが、円滑な処理が出来るよう、なるべく早期な再稼動を願っております。</p> <p>新ごみ処理施設の建設に関しては、後ほど職員から報告があると思いますが、当面は近隣市のご支援により処理せざるを得ない状況のなか、廃棄物等減量推進審議会委員の皆様、そして市民の皆様にはご理解いただき、他市の処理施設への負担を軽減するため、更なるごみ減量にご協力いただかなければなりません。</p> <p>また、粗大不燃ごみは、平成19年に大規模な改修工事を行った中間処理場で処理しており、今後も周辺住民の方々のご理解とご協力のもと運営する必要があります。</p> <p>市としては出来る限りのごみ減量を図る必要があります、是非ともこの審議会のご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>皆様には、今後2年間に渡り審議会委員をお勤めいただき、小金井市の重要課題であるごみ問題に対し、建設的なご意見、また、ご協力を頂けますことをお願いし、冒頭のあいさつといたします。</p> <p>本日は第1回目の審議会開催となるため、各委員より自己紹介をお願いします。</p>
鈴木 課長補佐	(席次表に従い、全委員より自己紹介)
委員	(環境部長以下、事務局員自己紹介)
鈴木 課長補佐	配布資料の確認

委員	「了承」
鈴木 課長補佐	これより議事に入る。 はじめに、正副会長の選出を行う。 会長は「小金井市廃棄物減量等推進審議会規則第3条第2項」の規定により「委員の互選によって定める」こととなり、互選にあたっては、事務局の進行で行うことよろしいか。
委員	「異議なし」
鈴木 課長補佐	ただいまから、小金井市廃棄物減量等推進審議会会長の互選を行うが、互選の方法は、指名推薦でよろしいか。
委員	「異議なし」
鈴木 課長補佐	どなたか推薦願いたい。
委員	会長に、庄司委員を推薦したい。
鈴木 課長補佐	ただいま、会長に庄司委員が推薦されたが、他になければ、庄司委員を選出することよろしいか。
委員	「異議なし」 異議なしと認めます。 それでは、庄司委員を会長に選出することに決定する。 庄司会長より、会長就任のあいさつを願いたい。
庄司 会長	(会長あいさつ) 《議事引継ぎのため休憩》
庄司 会長	議事再開 再開いたします。 議題に入る前に、副会長の選出を行いたい。 副会長の選出は、指名推薦により行いたいよろしいか。
委員	「異議なし」
庄司 会長	互選の方法は、指名推薦で行うが、どなたか推薦願いたい。
委員	副会長には、植村委員を推薦する。
庄司 会長	ただいま、植村委員を副会長との推薦があったが、他になければ植村委員を選出することよろしいか。

委員	「異議なし」
庄司 会長	異議なしと認める。 したがって、副会長に植村委員を選出することに決定する。
庄司 会長	植村副会長よりあいさつを願いたい。
植村 副会長	(副会長あいさつ)
庄司 会長	市長は公務により退席する。 (市長退席)
庄司 会長	本日は、改選後最初の審議会なので、議題に入る前に小金井市のごみの概要について事務局から説明願いたい。
柿崎 課長	資料「小金井市のごみの概要」に基づき説明
庄司 会長	小金井市のごみの概要及びこれまでに取り組んできた施策について質問はあるか。
勝又 委員	草木類を三束以下で出す場合でも、資源化ごみとして処理できないか。
井上 係長	現在、三束以下の場合には、燃やすごみと共に収集している。 平成20年度から、枝木の束が四束以上の場合、事前に連絡いただいた上、市が回収し堆肥化している。 ただし、三束以下の場合には、これまでと同様に燃えるごみとして回収することとなり、できれば四束以上に溜め、その後、市に連絡願いたい。
庄司 会長	その他には。
加藤 委員	資料9頁の埋め立て処分場の平成22年度の埋め立て制限量(割当量)は何 t か。
深澤 部長	平成22年度は、200トンとされている。 運営自体は、広域資源循環組合が行い、今後各市町村に対しては、更に埋め立て処分量の削減が求められてくる。
加藤 委員	その量を超えた場合には、何らかのペナルティーはあるのか。
深澤 部長	現在の最終処分場に代わる、次の処分場の候補地はない。 したがって、いずれの市においてもいかに埋め立て量の削減に努め、ペナルティーを課せられる以前に、処分場の延命化を図ることが大切だと考えている。 その意味で、焼却灰は全てエコセメント化されているが、これにも多額の経費がかかっている。 今後は焼却灰を少なくするためにも、また焼却できずに埋め立てられるごみの

<p>庄司 会長</p> <p>藤本 課長補佐</p>	<p>削減努力が必要である。</p> <p>他に質問は、 小金井市のごみ処理問題については、次回以降、事務局より説明いただく。 それでは、本日の議題に入りたい。 議題(1)から順に、事務局から説明を求める。</p> <p>(1) 平成21年度の可燃ごみ処理状況について 資料「平成21年度 可燃ごみ処理の支援状況について」及び「平成22年度 可燃ごみ処理支援状況について」に基づき説明 平成19年4月以降、二枚橋衛生組合の全炉停止に伴い、小金井市の可燃ごみは、その全量を、多摩地区の市及び一部事務組合に処理をお願いしている。 処理施設周辺住民及び関係者の皆様には、深く感謝している。 平成21年度に、八王子市、昭島市、国分寺市、多摩川衛生組合、日野市、三鷹市の、計6団体に支援をお願いした搬入実績量は、処理委託契約量14,050トンに対し13,813トンとなった。 そのうち、家庭系可燃ごみの搬入実績量は、平成20年度の14,180.7トンと比較し、平成21年度13,812.7トンで、368トン、約2.6%程度の減少となっている。 これに、事業系可燃ごみを加えると、燃やすごみの処理実績量は、平成20年度16,084.4トンに対し、平成21年度は15,052.4トンで、1,032トン、6.42%の減となっている。 次に、平成22年度可燃ごみ処理の支援状況については、平成21年1月に改正された「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱」第22条に基づき支援していただいているが、現在、多摩川衛生組合、昭島市、八王子市、日野市の4団体に12,250トンの処理をお願いしており、年間処理見込み量の約14,000トンの内、12,250トンの処理が可能となっている。 施設周辺にお住まいの関係者の皆様には、深く感謝している。 現在、多摩川衛生組合は6月15日に施設的なトラブルが発生し、全炉を停止の上、現在、復旧作業中であり、7月中に修理を完了し、8月から再稼動する見込みである。 この間、多摩川衛生組合に搬入予定であった小金井市の可燃ごみについては、昭島市と日野市に、搬入時期の前倒しにより対応いただいているが、併せて年間処理量の増量をお願いしている状況である。</p>
<p>庄司 会長</p>	<p>ただいまの説明について質問はあるか。</p>
<p>伊藤 委員</p>	<p>処理見込み量を満たしてなく、更に、今年度は、三鷹市及び国分寺市が受け入れ先に含まれてないが、今後さらなる支援量増量、あるいは新たな支援先の追加を要請することはあるのか。</p>
<p>藤本 課長補佐</p>	<p>三鷹市については、支援に向けて打診を行った経過があるが、残念ながらご支援をいただける状況には至らなかった。 また、国分寺市についても将来の共同処理に向け歩調を合わせて進みたいと考えており、このことを前提に国分寺市に当市のごみ受入れをしていただいていたが、当市の力不足により新ごみ処理施設建設に係る計画が、国分寺が求めるほど</p>

	<p>の事業進捗に至っていない状況において、国分寺市のご厚意にこれ以上甘える訳にはいかないものと考え、現時点では国分寺市への支援依頼は行っていない。</p> <p>なお、新ごみ処理施設建設事業に一定の事業進捗があれば、再度、支援の再開に向けて協議させていただきたいと考えている。</p>
庄司 会長	<p>今年度の処理委託料にある12,250トンに対し、今年度のごみ処理見込量は昨年度より減ってはいるが、その処理見込み量（発生見込み量）13,800トンを満たしていないが、この処理不足量について何らかの対策はあるのか。</p>
藤本 課長補佐	<p>現在受け入れていただいている団体に対し受入れ量の増量を要請し、処理量を確保したいと考えている。</p>
庄司 会長	<p>既に、支援団体には了解済みなのか。</p>
藤本 課長補佐	<p>現状としては、要請をしている段階である。</p>
加藤 委員	<p>昨年度のごみ発生量の推計で、家庭系可燃ごみは368トンの減で約2.6%程度にとどまり、事業系発生量を含め、全体で6.4%の削減が図られているが、家庭系の発生量抑制が図られていない理由はあるか。</p>
藤本 課長補佐	<p>平成20年度における事業系可燃ごみの実績量は1903.7トンであるのに対し、21年度は1239.7トンで、約664トン34.9%の減となっている。この主な要因は、手数料の改定や事業者自らによる可燃ごみ処理が定着してきた点等が考えられる。</p>
加藤 委員	<p>家庭系については、当初5%の減量を目指した中で、達成できなかった厳しい事情があったのか。</p>
深澤 環境部長	<p>事業系については、自主的に処理して頂いている中で、事業系の処理手数料は、これまで2回に分け改定を行い、三多摩地区の中でも一番高い手数料が掛かることから、事業者独自のルートによる処理もされるようになってきていることも考えられる。</p> <p>家庭系については、平成16年度、17年度には、発生量がおおよそ20,000トンであったが、平成21年度には13,000トンまでに大幅な減少に至り、現在も減量幅は小さいものの、引き続き市民の努力により減量は進んでいる。</p> <p>更なる、減量化について、この審議会の中で議論いただきたい。</p>
庄司 会長	<p>他にご意見、ご質問はあるか。</p> <p>次に、議題（2）ごみ・資源物の処理量及び平成21年度廃棄物会計について事務局から説明を求める。</p>
府川 主任	<p>資料：市報7月15日号リサイクル特集号に基づき説明 特集号1面：「平成21年度 ごみ・資源物処理量」の解説</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 焼却処理量 ② 埋め立て処理量

	<p>③ 資源化率 ④ 平成21年 ごみ・資源の流れ</p> <p>特集号2面：「平成21年度廃棄物特別会計」の解説</p> <p>① ごみ・資源物処理費 ② 市民1人当たり及び一世帯あたりの経費 ③ 歳入総額</p>
庄司 会長	ただいまの説明について質問はあるか。
加藤 委員	<p>ごみゼロ化推進会議の中で不燃ごみについて勉強する機会があった。 ごみの減量化といいながら、燃やさないごみは年々増えている。 プラスチックごみは減っているが、不燃系ごみは増えている傾向にあると認識しているが、その理由は何か。</p>
庄司 会長	説明資料との関連性はあるか。
加藤 委員	ない。
庄司 会長	<p>特集号1面中段右側の表「プラスチックごみ・燃やさないごみ合計量」は、「平成21年度ごみ・資源の流れ」のプラスチックごみ2,056トンと不燃ごみごみ1,449トンの合計量なのか。</p>
府川 主任	<p>そのとおりである。 また、全て資源化ごみとして認識願いたい。</p>
庄司 会長	燃やさないごみの増加要因は何か。
府川 主任	<p>表「プラスチックごみ・燃やさないごみ合計量」の全体量は横ばいを示している。 その内、燃やさないごみが増加した要因として「プラスチックごみ」と「燃やさないごみ」の分別が徹底されたことにより、これまでプラスチックごみの中に混入していたと思われる「燃やさないごみ」が適正に「燃やさないごみ」として排出されたことによる増加であり、実質的な増加ではないと捉えている。 なお、燃やさないごみは中間処理場に運ばれ、そこで破砕は埋め立て処分されている。</p>
庄司 会長	<p>今後審議会の中で、どのように減量化を進めていくべきなのか追々協議していきたい。 次に、(3)新ごみ処理施設建設事業の進捗状況について事務局から報告願いたい。</p>
藤本 課長補佐	追加資料として、市報4月15日号と7月1日号を提出したい。
庄司 会長	了承

藤本 課長補佐

新ごみ処理施設建設事業の進捗状況については、新ごみ処理施設建設場所を二枚橋焼却場用地に決定するため、3月に市民説明会を開催し、また、市議会全員協議会においてご意見をいただいたところである。

こうした経緯を経て、市として明確な方針を持つ必要があることから、3月31日に開催した庁議において、新ごみ処理施設の建設場所を二枚橋焼却場跡地に決定し、この内容を、直ちに調布市、府中市に報告するとともに、国分寺市にも伝えた。

しかしながら、この方針決定に基づく新ごみ処理施設建設実現のために不可欠な課題として、①敷地全体を確保するため、この用地に含まれる調布市及び府中市のご理解とそのための協力をいただくこと。②周辺住民に理解を得るための信頼関係の構築が必要であることの二つの課題が残されている。

このことについては、調布市、府中市の担当者にこの間何度かお会いし考え方を伺っているが、両市の二枚橋跡地利用についての考え方は各々概ね次のとおりである。

調布市は、総じて「平成19年3月の調布市議会の議決、ならびに平成20年8月の調布市全員協議会で市長が示した二つの考え方（平成20年8月27日全員協議会—08月27日—01号市長（長友貴樹）P.1〔抜粋〕「私は、これまで明らかにさせていただいておりますが、調布市の配分予定地、すなわち私どもの主張が法的拘束力を持つ部分につきましては、焼却炉の建設は認めることは出来ないとの考え方にいささかの変更もございません。さらに、21.53平方キロメートルの小さな市域に2ヵ所もの焼却施設は必要ありませんので、私どもの行政区域への建設は避けていただきたいと思います。）」に変化はない。」

また、府中市は、「当該用地の利用については、全庁的な考え方を整理する必要があり、小金井市が利用する場合において、より具体的な計画が見えた段階で検討したい。」との見解であった。

これらの見解に対し、本市としては引き続き当該用地の跡地利用及び新ごみ処理施設建設用地として選定した経緯についてご理解をいただくよう誠心誠意努力していきたい考えである。

また、新施設を建設するためには、市民の皆様のご理解とご協力が何よりも肝要であることから、市民説明会を5月15日（土）東センターにおいて午前10時00分から午後0時40分まで行い、参加人数は63名であった。

内容は、行政からこの間における経過報告を行った後、東町住民の方から提出された申し入れ書をもとに質疑応答が行われた。

詳細は、市ホームページ及び情報公開コーナーに会議録、資料を公表させていただいている。

この中で、厳しい意見をいただいているが、引き続き地域の皆様との話し合いを続けていきたいと考えている。

また、この説明会の際、市報4月15日号に掲載した内容について色々のご意見があり、このご意見に対し市報7月1日号の「一陽来復」において、市長からのコメントを掲載した。

詳細については、ごみ処理施設担当部長から報告させていただきたい。

三上 部長

5月に開催した市民説明会の席上で、「4月15日の市報を見れば、一般的な市民はすべての問題が解決し、いよいよ焼却場の建設が始まるとの印象を与えているが、これは事実と違うのではないか」との指摘を受けた。

	<p>当該市報の中でも説明しているところであるが、今回の建設場所の決定は、大きな課題を含んでいることも踏まえた上で、小金井市として明確な方針をもつ必要性から行ったものである。</p> <p>しかしながらこのことについては、まだ市民のご理解を十分に得ていないこともあり、この決定に至る経緯を関係者の皆さまにあらためてお伝えする趣旨で、追加記事を掲載した。</p>
庄司 会長	<p>報告に対する質問はあるか。</p>
伊藤 委員	<p>二枚橋跡地への決定は難しい問題が絡むと思うが、今の説明を聞いても昨年からなんら進展していない。</p> <p>この決定が遅くなることにより、最低どのくらい待てばよろしいのかお答えいただきたい。</p>
三上 部長	<p>難しい質問であるし、この点に最も市民の皆さんが注目していることも理解しているが、現時点では明確なスケジュールをお示しできる段階ではない。しかし、可燃ごみの処理を他市にお願いしなければならない状況の中で、このまま1年、2年、3年と引き延ばす訳にはいかないと考えている。今後は、国分寺市との共同処理を基本に調布市・府中市のご理解を求めていきたい。なお、今後の事業進捗については、適宜、当委員会へも報告したいと考えている。</p>
加藤 委員	<p>平成20年6月に開催した、ごみ処理施設市民検討委員会から既に2年を経過しているが、この現状を想像することは出来なかった。</p> <p>ただいまの報告のとおり、1年も、2年も、3年も引き延ばしにするわけにいかないとなると、今後1年以内には方向性が定まるものと理解してよろしいか。</p> <p>私は、国分寺市の市民説明会にも出席し、その際、国分寺市民からも市長に対し、「小金井市の情勢に引っ張られているばかりではないか」また「国分寺市の焼却工場自体、既に老朽化による寿命が迫っている」等の批判的な発言があった。</p> <p>非常に厳しい状況だと承知したうえで、例えば1年以内には方向性が定まるとの理解をしてよろしいか。</p>
三上 部長	<p>たいへん申し訳ないが、この場で「1年以内に何とかします」と申し上げる状況にはない。担当としては、「できる限り早く」としか申し上げる事ができないことにご理解をお願いします。</p>
庄司 会長	<p>この決定に対しては、「二つの課題をクリアーしない限り、決定は現実のものにならないわけで、特に相手側（調布市・府中市）の理解と了解をいただくことに最大限の努力をしていると、それ以上のことは現段階において申し上げられない」と捉えてよろしいか。</p>
佐藤 委員	<p>以前、小金井市が困っていることに対し、調布市では「何らかの対応をする必要がある」と考えていたとの話を聞いた。</p> <p>しかしながら、小金井市議会での合意が得られていない状況のなかで、調布市としては二枚橋用地での建て替えに賛成することは出来なかった経緯があった話を聞いた。</p> <p>二枚橋跡地への建て替えに対して、小金井市全体の合意を行政がまとめ、その</p>

	<p>上で調布市・府中市に持ちかけるべきだと考える。</p>
庄司 会長	<p>調布市・府中市サイドから見ると、小金井市民が一体となって二枚橋跡地へのごみ処理施設建設に向けた意思決定がなされていないと見られているとの意見として捉えてよいか。</p>
佐藤 委員	<p>二枚橋跡地に建設することが一番であり、反対者に対しても理解いただき、小金井市が一团となってこそ始めて調布市・府中市にお願いすることが出来るかと考える。</p>
三上 部長	<p>小金井市とは、小金井市議会と捉えてよいか。</p>
佐藤 委員	<p>市議会は、市民の代表であり、まずは市議会の合意があれば小金井市全体の意見として捉えていただけると考える。</p>
三上 部長	<p>これまでの経過の中で、調布市、府中市からそのようなご意見は伺っていない。今回の一番の課題は、二枚橋跡地は調布市、府中市、小金井市の3市域に跨っており、安定的な施設運営を考えると最低でも1.1ヘクタール（敷地全体）が必要だと言う点である。ここにごみ処理施設を建設するには、当市の東町のみならず府中市、調布市にお住まいの近隣住民にもご理解をいただかなければならないし、昭和32年の施設稼働からこれまでの経過の中で、臭気などの問題で地域にお住まいの皆様は非常にご苦労された経過もある。</p> <p>二枚橋の歴史的経過を振り返れば、全ての市民の合意を得るのは至難の業であると思う。</p> <p>しかし、施設の建設を実現するには、行政と地域の方々がいろいろな話を積み重ねて進んでいくことが肝要であり、引き続きご理解をいただけるよう努力していきたい。</p>
庄司 会長	<p>先ほどの委員からのご意見は参考とさせていただきたい。</p> <p>審議会として何処まで関るべき問題なのか、または関るべき問題なのかは今後の課題とし、本日は、現状を何うにとどめたい。</p> <p>本日予定した、3件の議題について終了してよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
庄司 会長	<p>その他として、今後の審議会の進め方及び次会の開催日程について事務局から提案願いたい。</p>
鈴木 課長補佐	<p>今年度は、本日の開催を含め5回から6回の審議会開催を予定している。</p> <p>その中で、来年度のごみ処理計画の策定をお願いすることとなるが、詳細については、次回の開催以降にお伝えしたい。</p> <p>また、第2回目の開催日程は、市内ごみ処理施設の見学を兼ねた開催を提案したい。</p> <p>日程は、10月中旬頃を予定し、当日は、中町のリサイクル事業所にお集まりいただき、市内のごみ処理施設見学の後、中間処理場の2階会議室にて第2回目</p>

<p>庄司 会長</p>	<p>の審議会を開催したい。</p> <p>今年度の審議会の開催は6回程度を予定することだが、当審議会では例年廃棄物処理法で定められている「ごみ処理計画」を策定することが大きな役割であり、これを見据えたものと考えている。</p> <p>次会開催日程を10月19日とすること及び市内ごみ処理施設の見学を兼ねた開催とすることについていかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>庄司 会長</p>	<p>次会の開催日を、10月19日（火）とし、当日の日程は、後日調整し通知する。</p> <p>閉会</p>